

【専門分野】

科目名	精神看護技術論	講師名	専任教員	学	3	履修期	第1学期			
単 位	1単位			年						
時間数	15時間									
講師実務経験	看護師としての臨床経験あり。									
授業概要	対人関係を基盤とした援助的態度を学ぶとともに、自己の内面を洞察し治療的コミュニケーション技術を学ぶ。									
授業科目目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神障害をもつ患者への関り方（コミュニケーション方法）が理解できる。</li> <li>2. 精神障害をもつ患者に対する人間関係の発展関係理論が理解できる。</li> </ol>									
授業計画	<p>1回：精神障害を持つ人とのコミュニケーション</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) コミュニケーションとは</li> <li>2) 精神看護におけるコミュニケーションの方法</li> <li>3) 治療的（効果的）コミュニケーション、非治療的コミュニケーション</li> </ol> <p>2回：患者—看護師関係の発展関係</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ペプロウの発展関係</li> <li>2) トラベルビーの発展関係</li> <li>3) 川野雅資の発展過程</li> </ol> <p>3～4回：精神障害を持つ人との関係の振り返り</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 振り返ることの意味（リフレクション）</li> <li>2) プロセスレコードにおける自己の振り返り</li> </ol> <p>5～6回：精神症状のある患者とのコミュニケーション</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 幻覚妄想状態のある患者とのコミュニケーション</li> <li>2) 躁状態の患者とのコミュニケーション</li> <li>3) うつ症状のある患者とのコミュニケーション</li> <li>4) 幻聴のある患者とのコミュニケーション</li> </ol> <p>7回：精神障害を持つ人の社会参加</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域での自立・統合への支援</li> <li>2) 精神障害をもつ人が使える制度</li> </ol> <p>8回：終了試験</p>					講義	講義	講義・演習	講義・演習	講義
評価方法	筆記試験									
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新体系 看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論・精神保健, メヂカルフレンド社.</li> <li>2. 新体系 看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護, メヂカルフレンド社.</li> </ol>									
学生へのメッセージ	<p>精神疾患を持つ患者の特徴を理解し、どのように関わっていけばよいか、「対人関係」をキーワードに学んでほしい。また、人間関係を構築していく上で、自己洞察が重要になってくることを理解してほしいと思います。</p> <p>【関連科目】心理学、人間関係論、倫理学、社会福祉、看護学概論、共通基本技術Ⅰ、在宅療養を支える看護Ⅰ・Ⅱ、精神看護学概論、精神健康論、精神看護援助論</p>									